

1979年3月16日

SSKO No. 25

総会議案集

東腎協

東京都腎臓病患者連絡協議会
事務局 東京都新宿区

〒161 電話 .
郵便振替口座 .
加入者名 . 東 腎 協

昭和五十一年二月二十五日第七種郵便物認可
SSKO通巻第三百三十三号
昭和五十四年三月十六日発行
毎週二回月曜日・金曜日発行



え・くどうまつたろう

第七回総会ご案内

東腎協規約第六条により、左記の通り第七回総会を障害者福祉会館において開催します。会員、家族の皆さん、お誘いのうえご参加下さい。

記

- 一、日時 昭和五十四年三月二十五日(日)
 一、次第 午前十一時……第七回総会

記念講演

「長期透析患者の問題と将来について」

講師・太田和夫先生(東京女子医大教授)

一、会場

東京都障害者福祉会館

〒108 港区芝5-18-12

☎03(四五五)六三二一〜三

※総会は午前十一時から行なわれますので、参加者には弁当を用意します。

△交 通▽山手線田町駅下車か都営地下鉄

1・6号線三田駅下車

△駐車場▽会館前に無料駐車場の設備があります。

会場への案内図



東腎協第7回総会次第

開会あいさつ

議長団選出

会長あいさつ

ご来賓のあいさつ

△報告事項▽

活動報告、決算報告、
 監査報告

△審議事項の提案、討論▽

活動方針案、予算案、
 規約改正案

新役員選出

閉会のあいさつ

総会終了後、記念講演

B5
120701

昭和五十三年 度 活 動 報 告

一、はじめに

石油ショック以来の長びく不況に、異常な円高相場の高騰は、中小零細企業の多い日本経済に大きな打撃を与えました。とりわけ、輸出に依存する零細企業では円高倒産に追い込まれる企業も徐々に増えているといわれています。

また、負債額一、〇〇万円以上の企業倒産は、昨年に次ぐ史上二番目の悪い記録となり、完全失業者も依然として一〇〇万人を超えております。

このように、健常者でも就業が困難な雇用状況の中では、「働ける腎臓病患者に社会復帰の道を」とは、大変けわしい坂道となりました。

しかしながら、結成以来の運動目標であった「腎臓病の早期発見、早期治療体制の確立」に含まれる成果として、従来隔年に行われていた小・中学生の検尿が

四月一日から毎年実施されることになり、一歩前進となりました。

二、本年の主な活動

(1) 昭和五十四年度予算要求について

機関誌第23号でお知らせしましたように、「医療供給体制の整備」ならびに、「医療費、生活保障」に関する十三項目の要請事項を、総務局、衛生局、民生局および住宅局へ提出し、七月二十日の東灘連と都当局との話し合いを皮切りに、要請活動をくりかえし行ないました。

また、都議会各党（自民党、社会党、共産党）にも、予算要求実現のために、東灘連と合同で陳情活動を行ないました。

そして、昨年十一月に原局から出された概算要求では、「健康づくり推進対策」新規事業、「附帯療養費（通院交通費を含む）の支給」新規事業、「大久保病

院の腎不全センターの整備」「心身障害者福祉手当の増額」「身体障害者福祉電話事業費補助」新規事業などに見られるように、前向きな姿勢が示されました。

しかし、去る一月十日に発表された昭和五十四年度東京都予算案では、都財政危機の中で骨格予算ということで、レアルアップ、新規事業はすべて見送られており、「大久保病院の整備費の予算化」を除き、他の都の単独福祉関係事業費は、四月～七月分のみ計上となりました。

(2) 給水制限下の透析施設への配水確保について

福岡市では、今だに第一次給水制限が続けられておりますが、東京都でも、昨年八月十日から第一次給水制限、そして八月二十九日からは第二次給水制限（十二時間給水）となり、少なからず透析用治療水の確保に不安がもたれました。

そこで、東協協では、八月二十九日に美灘部都知事宛に「第二次給水制限に伴う血液透析施設に対する配水確保について」の要望書を提出し、水道局へ給水対策を要請しました。

また、八月三十一日には、都内一〇七ヶ所の透析医療機関にも「給水制限下の透析用水の確保のお願い」の要請書を送付しました。

(3) 会員相互の交流について

東腎協としては、初めての「日帰りバス旅行（栗ひろい）」を十月八日に行ないました。

企画した当初は、参加申込者が少なく実施が危ぶまれましたが、役員諸氏の尽力で予定通りに実施され、三十七名の会員・家族が事故もなく楽しい一日を過ごしました。

(4) 腎臓病の知識普及、啓蒙について

会員の体験談、会活動の状況などを内容とした機関誌「東腎協」は年四回の定期発刊をしました。そして、第24号には腎臓病の知識啓蒙のために、わかりやすい内容の解説を掲載しました。

今年で三回目になる、東難連主催の「腎臓病の医療相談会」は、東腎協の実務担当により、昨年度と同じ、中野サンブ

ラザの研修室で開催しました。

今回は、北里大学医学部内科の丸茂助教授、大久保助教授ならびに、あけぼの病院の南郷院長、東芝先生の諸先生が、医療相談を担当され、また、(社)東京都医療社会事業協会のケースワーカー（六人）の方々のご協力もあって、好評に終ることができました。

(5) 透析患者の自己管理に関する実態調査について

現在都内で透析を受けている東腎協会員、約一、一〇〇人を対象に、保健医療体制、福祉体制、就業体制などの整備、充実に関する政策に反映するために、「人工透析患者の自己管理、社会復帰などについて」のアンケート調査を行ないました。

この調査は、相模富士雄先生（国立公衆衛生院）と宗像恒次先生（国立精神衛生研究所）の協同研究に東腎協が、組織的に協力して実施されたのですが、社会復帰、腎移植などについては、東腎協の要望で設問されました。

(6) 「ゆたかな医療と福祉をめざすー全国患者・家族集会」について

昨年四月二日、東京都勤労福祉会館で開催された「ゆたかな医療と福祉をめざすー全国患者・家族集会」は、東京難病連、全難連、全患連、北海道難病連および京都難病連の五団体の呼びかけにより全国の主な地域の患者・家族五二団体の賛同のもとに成功裡に開催されました。

当日は、三九団体・七七三人もの参加者があり、東腎協は、東京難病連の加盟団体として七五人の会員・家族を参加させて、この集会の成功のために貢献しました。

また、集会の翌日に行なわれた、国会請願に向けての請願署名・募金運動では、会員皆様のご協力により、署名数ノ六、二六二人、募金額ノ五〇八、六六一円（内二〇、七五二円を東難連に納入）の成果を上げました。

(7) 組織の拡大・強化について

本年の活動方針の重点項目であった、「第七回総会までに会員数を一、五〇〇人とする」は、役員による積極的な病院、患者会訪問活動の結果、昨年二月末に三八であった患者会数が本年二月末現在で五〇となり、会員数も、一、〇五四人から一、四六七人となりました。

会員増の内訳は、既成の患者会で二八二人、新人患者会で一三一人と昨年の二五八人増を大幅に上回る四一三人の増加となりました。

これは、役員の出発点である病院訪問活動の成果であることもさることながら、各患者会役員の方の努力の結果であると思います。

全腎協の国会請願署名・募金運動は、署名数一四、五四八人、募金額一、〇八九、三九八円（七割納入分）となり募金については、四六六、八八四円を全腎協へ納入しました。

(8) 他団体との連携について

当会が加盟している、東京難病団体連絡協議会（略称・東難連）には、昨年四

月に、平沢事務局長が東難連会長に再選され、都予算案に関する都議会各党および、都庁各局への陳情、要請では、その中心となって活動してきました。

また、全腎協第八回総会（名古屋）、全腎協第五回関東ブロック会議（長野）、全腎協第五回学習交流会（読売ランド）、全難連第四回定期大会および、全難連第四回総会などにも積極的に参加、協力しました。

三、おわりに

数年来より叫ばれている都財政危機も今年度は空前のものとなり、昭和五十三年度末で二、七〇〇億円の赤字が予想されております。

仮りに、減収補てん債の発行、都用地の売却などで埋め合わせができたとしても実質赤字は、一、七七〇億円程度となり、赤字団体（起債制限団体）に転落する限度額一、〇九一億円との差額六八〇億円の財源が、本年度中にひねり出されなければ、赤字団体への転落は必至となつております。

こうした状況の中で、私たち役員は、治療が続けながら精いっぱい活動をしてきましたが、小数の役員活動には限界があり、会員皆様が期待されるような具体的な成果を上げることができませんでした。

しかし、昨年度の活動報告でも提言しましたが、近年、区市町村独自で福祉対策が行われるようになってきておりますので、区市ごと或いは、地域的な組織化取り組みが必要になってきました。

それは、一部役員に任せられた中央での運動の成果に期待することよりも、自分の住んでいる地域の活動の中で、きめこまかい福祉対策の拡充を行政に求める運動を展開してゆくことであります。

あなた自身の積極的な参加と、ねばり強い運動で、より良い医療と、社会福祉対策の拡充のために、今後ともに頑張らしましょう。

昭和五十三年年度活動記録

△53年▽

- | | | | | | |
|------|---------------------------------------|------|---|------|--|
| 3・9 | 都知事室、都議会各党へ。第6回総会への出席要請(平沢) | 4・8 | 衛生局特殊疾病対策課へ予算について要請(平沢) | 4・28 | 衛生局特殊疾病対策課へ、健康問題について話し合(平沢) |
| 3・11 | 東難連定例運営委員会・新年度事業計画、予算について(平沢) | 4・10 | 機関誌第21編集(加藤) | 5・2 | 両国クリニック、中島病院、月島サマクア病院、豊洲厚生病院を訪問(宝生・草間) |
| 3・21 | 東腎協第10回役員会 | 4・11 | 京葉病院を訪問(宝生) | 5・6 | 東難連構成団体役員交流会に出席(平沢) |
| 3・26 | 東腎協第6回総会開催 | 4・14 | クリニック小岩を訪問(宝生) | 5・9 | 南千住クリニックの説明会に出席(宝生) |
| 3・30 | 立川クリニック、立川病院、立川第二相互病院を訪問、患者会 | 4・16 | 全腎協第66回運営委員会に出席(平沢) | 5・11 | 城南クリニック、目黒駅前クリニック、エバラ病院、東京共済病院を訪問(宝生・草間) |
| 4・1 | 北病院、北病院腎センターを訪問(宝生) | 4・18 | 西新井病院、敬仁病院、北千住クリニック、池の端クリニックを訪問、(宝生・草間) | 5・11 | (社)東京都医療社会事業協会役員と東難連運営委員の話し合いに出席(平沢) |
| 4・2 | 全国患者・家族集會(東京都勤労福祉会館)に東腎協の会員・家族75人が参加。 | 4・20 | 飯田橋クリニック、高須診療所半蔵門病院を訪問、(宝生・草間) | 5・14 | 全腎協第8回総会(名古屋)に東腎協役員・会員31人が参加 |
| 4・4 | 南千住クリニック、三の輪病院を訪問(宝生) | 4・22 | 民生局へ予算について要請(平沢) | 5・16 | 職本病院訪問(宝生・草間) |
| 4・4 | 都知事室、衛生局および都議会各党(公明党、社会党、共産党) | 4・22 | 東難連定例運営委員会に出席(平沢) | 5・16 | 労働局職安部へ透析患者の雇用促進を要請(平沢) |
| 4・4 | 民生局へ「私鉄バス乗車割引証」 | 4・23 | 東腎協第1回常任幹事会 | | 民生局、衛生局へ予算について要請(平沢) |
| | | 4・24 | 東腎協機関誌第21発行 | | |

- 5・21 東腎協第2回常任幹事会
- 5・23 三軒茶屋病院訪問(宝生)
- 5・23 衛生局医療福祉部へ予算に関する話し合いについて要請(平沢)
- 5・25 東海病院、河北病院、松室クリニック、東高円寺クリニックを訪問(宝生・草間)
- 6・1 中島病院、千葉病院、島田総合病院を訪問(宝生・草間)
- 6・2 衛生局特殊疾病対策課へ予算について要請(平沢)
- 6・4 全難連第4回総会に参加(加藤、高橋、池井、山北、草間)
- 6・8 玉井病院、井上病院、道玄坂クリニック、三井記念病院を訪問(宝生・草間)
- 6・9 東村山診療所を訪問(宝生)
- 6・10 飯田橋クリニックの説明会に出席(宝生)
- 6・10 (社)東京都医療社会事業協会役員と東難連構成団体役員との懇談会に出席(平沢)
- 6・11 全腎協第67回運営委員会に出席(平沢)
- 6・18 東腎協第3回常任幹事会
- 6・22 腎研クリニック訪問(宝生)
- 6・27 衛生局特殊疾病対策課業務課と予算交渉話し合いの日程調整(平沢)
- 7・1 東難連定例運営委員会に出席(平沢)
- 7・4 住宅局、民生局、総務局および衛生局へ新年度予算に関する要請書提出(平沢)
- 7・6 民生局、総務局、住宅局の各担当者、予算に関する話し合いの日程の調整(平沢)
- 7・7 機関誌版22編集(加藤)
- 7・20 衛生局、民生局、総務局および住宅局各担当課長と新年度予算について話し合う(宝生・泉山・平沢)
- 7・21 山崎・糸賀・山崎が参加
- 7・22 東腎協機関誌版22発行
- 7・23 全腎協第1回事務局担当者会議に出席(平沢)
- 7・23 東腎協第4回常任幹事会
- 7・25 衛生局特殊疾病対策課へ予算について要請(平沢)
- 8・4 衛生局特殊疾病対策課へ予算について要請(平沢)
- 8・19 東腎協第3回常任幹事会
- 8・22 「東京の保健医療を考える集い」に参加(宝生・平沢・小林)
- 8・22 衛生局特殊疾病対策課へ予算について要請(平沢)
- 8・26 共産党都議団へ新年度予算について陳情(平沢)
- 8・27 東腎協第1回幹事会に役員、代表者28人が参加
- 8・29 美濃部都知事宛に「第2次給水制限に伴う透析施設に対する配水確保について要望書」を提出し、水道局へ要請(宝生・小林)
- 9・2 東難連定例運営委員会へ出席(平沢)
- 9・7 調布病院を訪問(宝生・草間)
- 9・9 全腎協第69回運営委員会に出席(平沢)
- 9・10 全難連第3回代表者会議に参加(山崎・石川・高橋他)
- 9・15 東腎協第5回常任幹事会
- 9・17 都知事室、都議会各党(自民党、公明党、社会党、新自夕、民社党)へ陳情(平沢)
- 9・21 水道局営業部へ湯水対策に対す

			る配慮について謝辞(宝生)
9・25			衛生局特殊病対策課へ予算につ いて要請(平沢)
9・29			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
10・1			第3回腎臓病医療相談中(中野 サンブラザ)を実施(一ノ清・ 平沢・加藤・山崎・山北)
10・1			第5回関東ブロック会議(梶井 沢)に参加(泉山・糸賀)
10・3			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
10・6			機関誌版23編集(加藤)
10・7			東難連定例運営委員会に出席 (平沢)
10・8			日帰りバスハイク(栗ひろし)
			実施(宝生・一ノ清・山崎・石 川・山北)
10・8			全腎協第70回運営委員会に出席 (平沢)
10・13			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
10・14			全腎協第23回幹事会に出席(宝 生・一ノ清・泉山・平沢)
10・15			
10・17			大田病院、京浜病院、東急病院
11・11			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
11・9			「透析患者の自己管理に関する 調査」について、相磯先生、宗 像先生と話し合う(一ノ清・泉 山・平沢・小林)
11・6			都議会自由民主党へ予算につい て陳情(平沢)
11・4			東難連構成団体役員交流会に出 席(平沢)
11・4			名)
10・29			全患連第4回定期大会に参加 (宝生・泉山・石川・草間他3 名)
10・27			国立王子病院、帝京大病院、南 千住クリニックを訪問(宝生・ 草間)
10・25			都知事室へ予算について陳情 総務局人事部へ挨拶(平沢)
10・24			民生局身障害者福祉部へ予算 について要請(平沢)
10・22			東腎協第6回常任幹事会
10・20			東腎協機関誌版23発行
10・17			民生局、衛生局へ予算につい て要請(平沢)
11・19			透析センター、長原三和クリニ ック訪問(宝生・草間)
11・25			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
11・29			民生局身障害者福祉部へ予算 について要請(平沢)
12・1			衛生局医療福祉部へ予算につい て要請(平沢)
12・2			全腎協第5回学習交流会(読売 ランド)に参加(泉山・加藤・ 石川・高橋・山北・草間他3名)
12・3			調布病院腎友会結成総会に出席 (宝生)
12・7			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
12・9			社会党都議団へ予算について陳 情・懇談(宝生・泉山・平沢・ 糸賀・山北)
12・10			全腎協第71回運営委員会に出席 (平沢)
12・12			衛生局特殊疾病対策課へ予算に ついて要請(平沢)
12・16			月島サマリヤクリニック訪問 (宝生・平沢)
12・17			東腎協第8回常任幹事会

12・25 衛生局特殊疾病対策課へ予算に

ついて要請(平沢)

△54年▽

1・6 全腎協厚生省への予算折衝に参

加(宝生)

1・11 機関誌版24編集(加藤)

1・11 扶桑薬品㈱へ新年挨拶(宝生)

都議会、社会党、共産党事務局

へ予算内示額について聞く(平

沢)

衛生局特殊疾病対策課、業務課、

病院財務課、母子衛生課へ新年

の挨拶(宝生・平沢)、救急医

療対策室振興医療係へ「大島町

への人工透析施設の設置」につ

いて要請(宝生・平沢)

1・19 東腎協機関誌版24発行

1・21 東腎協第9回常任幹事会

1・22 都知事室へ挨拶。都議会、共産

党事務局より新年度予算の資料

を貰う。衛生局特殊疾病対策課

へ予算内示額についてきく(平

沢)

1・25

労働経済局職安部職業課へ「透
析患者の職訓入所」について要

請。民生局身障害者福祉部計画

課へ予算について聞く(平沢)

1・30

全腎協国会請願行動に東腎協役

員・会員20名が参加

2・3

東難連定例運営委員会に出席

(平沢)

2・6

「透析患者の自己管理に関する

調査書」を各会へ発送

2・6

あけぼの病院を訪問(宝生・一

ノ清)

2・15

衛生局特殊疾病対策、結核成人

病課、栄養課へ新年度予算額に

ついてきく(平沢)

2・18

東腎協第2回幹事会(全社連会

館)開催。役員、代表者31人が

参加。

2・19

東腎協議案書(東腎協版25)編

2・26

集



昭和 5 3 年度 決算報告

自 昭和 5 3 年 2 月 1 6 日
至 昭和 5 4 年 2 月 2 8 日

項 目	金 額	備 考	
収入の部	前期繰越	1,130,713	
	会費	3,502,600	年初 1,096名 年度末 1,467名
	寄附金	438,400	都職労 200,000 扶桑薬品 120,000 他 7件
	雑収入	130,739	預金利子 88,869 広告代 20,000 他
	預り金	33,600	54年度会費 2口 14名分
合 計	5,236,052		
支出の部	会報費	478,900	機関誌 4回、全腎協機関誌代 8,900 他
	印刷費	74,947	入会案内、規約、名刺、コピー用紙代 他
	通信費	255,715	電話料 52,510 郵便、小包代金
	総会費	173,411	議案書 135,000 アルバイト 12,000 案内状 6,800 他
	会議費	239,340	全腎協学習会 54,000 バス旅行 40,000
	旅費交通費	580,543	全腎協総会ブロック会議役員活動費
	人件費	433,220	事務局アルバイト
	事務所管理費	120,000	月 10,000
	備品費	23,000	机 15,000 椅子 8,000
	事務用品費	35,950	事務用品、帳簿、消耗品 他
	雑費	13,900	香典 1件 5,000 他
	諸会費	1,649,050	全腎協 1,636,400 東難連 6,000 身害協 6,650
	小 計	4,077,976	
次期繰越	1,158,076		
合 計	5,236,052		

昭和 5 3 年度 監査報告

私たちは、東京都腎臓病患者連絡協議会の昭和 5 3 年度の決算報告書、すなわち現金、金銭出納帳、銀行預金、経費明細書等について監査し、その結果、すべての経理処理手続きは公正、妥当と認められました。

昭和 5 4 年 3 月 4 日

会計監査 徳 永 雄 二 印
 同 草 間 和 男 印

特別会計決算報告

自 昭和53年3月1日
至 昭和54年2月末日

I 収入の部

前期より繰越		1,416,922
51年度募金残高	580,000	
52年度募金残高	836,922	
53年度繰入高		1,216,133
全国患者家族集金募金	126,735	
78年国会清願募金総額	1,089,398	
合 計		<u>2,633,055</u>

II 支出の部

国会清願募金全腎協納入	466,884	
国会清願当日日当20名×2000	40,000	
〃 通信費	19,935	
小 計		<u>526,819</u>
次期繰越高		<u>2,106,240</u>

上記の通り報告致します。

昭和五十四年度活動方針 (案)

こゝ数年叫ばれてきた不況と、都の財政的危機は、いよいよ破局を迎えようとしており、新規事業の見送り、公共料金の値上げ等、私たちの身辺をおびやかしながら続いています。

一方、私たち透析患者は、現在の生活に満足はしていないが、特に、さし迫っているわけでもないという、中間的指向者が増加しているのも事実であり、この二極的にして相反する状況をどのようにして改善してゆくかが、本年の最大な課題であると思われまます。

私たちは、財政がどうあれ、状況がどうあれ、運動によつて前進する以外に、生存への道はないものと思ふし、逃げてゐては真の運動はないし、本当の幸福は訪れないものと確信します。

ここに、全会員が初心にかえつて奮起を期待しつつ昭和五十四年度の運動目標を次のように定め、その実現のため活動してゆきます。

一、医療供給体制の整備に関する要望

- (1) 伊豆大島に透析施設を設置してください。
- (2) 大久保病院の改革を急いでください。
- (3) 豊島病院の透析室を拡充してください。
- (4) 全ての都立病院に専門医の配置を早急に実現してください。

二、医療費、生活保障に関する要望

- (1) 慢性腎炎患者の医療費公費負担をしてください。
- (2) 腎移植手術に伴う保険外負担について補助してください。
- (3) 福祉手当の増額と対象者を身障三級までに拡大してください。
- (4) 勤ける腎臓病患者の雇用の促進してください。
- (5) 都営住宅に単身身障者を優先入居

させてください。

三、東腎協の組織運営上の問題

- (1) 前年度に引き続き会員の拡大を行ない会員数一、八〇〇名を目標とします。
- (2) 専任の役員を配し未加入患者の加入を促進します。
- (3) 幹事会を年二回開催し相互の交流を深める。
- (4) 全腎協各県組織との連携を強化する。
- (5) 東難連及び他団体の連携を強化する。



昭和54年度予算書（案）

自 昭和54年3月 1日
至 昭和55年2月28日

項 目	金 額	備 考	
収 入 の 部	前 期 繰 越	1,158,076	
	会 費	3,600,000	1,500人×2,400
	寄 附 金	120,000	扶桑薬品KK
	雑 収 入	50,000	預金利子、広告代
	合 計	4,928,076	
支 出 の 部	会 報 費	550,000	機関誌 130,000×4回 全腎協 5,000×6
	印 刷 費	100,000	幹事会報告、コピー用紙 資料等
	通 信 費	250,000	電報・電話、郵便、会報発送、送金手数料
	総 会 費	250,000	議案書、謝礼、設備費、弁当、アルバイト代等
	会 議 費	120,000	幹事会2回、常任幹事会
	旅 費 交 通 費	850,000	全腎協総会参加費、ブロック会議、職員交通費、役員活動費
	人 件 費	552,000	事務局アルバイト 3,500×10×12+30,000×2 臨時アルバイト 3,000×2×12ヶ月
	事務所管理費	120,000	@ 10,000×12
	備 品 費	20,000	脇机1ヶ 20,000
	事 務 用 品 費	50,000	事務用消耗品等
	雑 費	54,076	弔慰金 其他
	話 会 費	1,812,000	全腎協 1,500×12=1,800,000 東難連 6,000 身定協 6,000
	予 備 費	200,000	
合 計	4,928,076		

特別会計予算（案）

国会請願行動費	50,000
通 信 費	25,000
雑 費	5,000
合 計	80,000

東腎協規約改正案

第十二条（役員）

当会の役員は、総会で選出し、
会長一名、副会長若~~干名~~、事務局
長一名、事務局次長若~~干名~~、会計
一名、常任幹事若~~干名~~、幹事若~~干~~
名および会計監査二名とする。た
だし、役員の任期は、一年とし兼
任はできない。

現行規約

第十二条（役員）

当会の役員は、総会で選出し、
会長一名、副会長二~~名~~、事務局
長一名、事務局次長若~~干名~~、会計
一名、常任幹事若~~干名~~、幹事若~~干~~
名および会計監査二名とする。た
だし、役員の任期は、一年とし兼
任はできない。

スローガン案

- 一、慢性腎炎の医療費公費負担をノ
- 二、腎臓移植手術に伴う保険外負担
の解消ノ
- 三、都の福祉行政の継続発展をノ
- 四、患者の負担増につながる健保改
悪に反対しようノ
- 五、勤ける腎臓病患者に社会復帰の
道をノ
- 六、未加入患者に呼びかけ、一、八
〇〇人の東腎協をつくらうノ

大 会 宣 言

私たちは、昭和47年11月、東腎協を設立以来、「患者の生命(いのち)と生活(くらし)を守る」を合言葉に運動を進めてきました。

この間、いろいろな困難はありましたが、東京都の行政においては、悪性高血圧(悪性腎硬化症)、ネフローゼ症候群の医療費助成、身心障害者の医療費助成および身心障害者の福祉手当等一応の成果をみることができました。

そのおかげで透析患者は、更正医療の指定医療機関以外でも自己負担がなく安心して透析を受けることができました。

しかし、1月10日発表された昭和54年度東京都予算案によると、新規事業はまったくなしの骨格予算であり、そのうえ福祉事業が4月から7月分だけという足切り予算となっています。

当然、私たち腎臓病患者に大きな影響のあるこれら諸施策も足切りになっていて、非常に不安を感じざるをえません。

また、福祉見直しがいわれている現在、私たちの療養生活は大いなる脅威にさらされています。

私たちは、本日第7回総会を開催し、新たに決定した活動方針を指針としてつつ諸先輩の築いてきた福祉行政を守り、さらに発展させるため団結して運動を進めることを決意し、ここに高らかに宣言します。

1979年3月25日

東京都腎臓病患者連絡協議会

第 7 回 総 会

昭和54年度東京都予算(案)概要

(54. 1. 12)

事 項	昭和53年度 予 算 額	昭和54年度 予 算 内 示 額	説 明
	百万円	百万円	
東 京 都 予 算	3034100	2573000	△461,000百万円、△15.2%

事 業 名	昭和53年度 予 算 額	昭和54年度 概 算 要 求 額	昭和54年度 予 算 内 示 額
	千円	千円	千円
衛 生 局 予 算	47980,000	54,243,708	42,864,000
2. 母子保健対策	847,878	1,268,386	860,978
(1) 乳幼児健康診査	355,486	632,623	400,906
① 乳幼児健康診査	2,451,300	3,373,346	2,504,080
② 三才児健康診査 49,100人	59,664	68,372	67,379
③ 先天性代謝異常検査 120,800人	50,692	113,000	83,119
3. 小児医療対策	11,792,888	14,661,544	12,782,200
(1) 小児慢性疾病医療費公費負担 (都単分4月～7月)	833,416	1,060,486	871,622
① 医療費公費負担 9疾病群 11,300人	830,678	996,480	871,300
② 付添看護料法定外補助 100人	1,059	966	322
③ 付帯療養費の支給(55年1月実施) 20,920人	0	63,040	0
6. 成人病対策	11,194,533	12,485,966	11,752,265
(2) 成人病予防	255,334	331,657	109,969
① 循環器検診	91,176	107,429	98,411
② 成人病相談室	11,376	23,989	11,558
④ 公衆衛生センター(仮称)設置調査委員会	0	1,730	0
7. 健康づくり対策	7,872	9,838	8,232
(1) 健康づくり市町村補助	5,460	5,460	5,460
在宅婦人健康診査 4地区			
栄養改善地区組織育成 4地区			
② 健康づくり推進対策	0	1,606	0
(3) 体力づくり	2,412	2,772	2,772
17. 特殊疾病対策	682,941	986,566	727,531
(1) 医療費公費負担 (都単分4月～7月)	638,647	884,033	682,640
① 難病医療 28疾病	602,230	843,429	635,533
② 特殊医療 2疾病	27,731	34,161	17,081
③ スモン患者に対するはり等施術費助成	0		27,306
④ 付添看護料法定外補助 820人	8,686	8,158	2,720
(2) 研究委託 難病の早期診断に関する研究等	37,200	37,200	37,200
(3) 健康指導(東難連、むちうち症)	3,800	3,800	3,800

事業名	昭和53年度 予算額	昭和54年度 概算要求額	昭和54年度 予算内示額
	千円	千円	千円
④(4) 付帯療養費の支給 月額3,000円 17,084人 〔病院会計〕	0	53,375	0
2. 高度専門医療体制の拡充	1,476,151	4,366,770	3,681,000
(1) 神経病院建設 病床300床	1,467,151	4,287,000	3,681,000
(2) 大塚病院建設 調査設計等 病床550床	10,000	67,770	0
(3) 病産院改築等調査 大久保病院ほか6病院	8,000	12,000	0
3. 病産院施設整備	236,258	2,765,123	549,000
(1) 大久保病院整備 (腎不全センター55年4月完成予定)	324,830	3,215,82	301,000
民 生 局 予 算	百万円	百万円	百万円
	180,632	212,801	92,278
1. 心身障害者福祉対策	千円	千円	千円
(1) 心身障害者福祉手当の支給 8か月分計上(53年12月～54年7月) ○ 手当額～月額7,000円 ● 所得制限～531万円(扶養親族5人の場合)	10,365,987	17,956,000	7,253,541
(2) 重度心身障害者(児)手当の支給 5か月分計上(54年3月～7月) ○ 手当額～月26,000円 ○ 所得制限～なし	15,240,21	1,657,000	703,981
(3) 心身障害者(児)医療費の助成 5か月分計上(54年3月～7月) ○ 所得制限～前年收入おおむね573万円 (扶養親族5人の場合)	240,600	2,750,000	1,146,576
(4) 付添看護料の助成 4か月分計上(54年4月～7月)	16,410	28,000	8,589
(6) 身体障害者福祉電話設置事業補助 150台分 ○ 対象～下肢、体幹又は内部障害の1～2級程度 ◎ 80,300円の2/3補助 ○ 所得制限～所得税非課税世帯	8,030	14,000	8,030
(7) 身体障害者自動車運転教習事業補助 400人 ○ 対象～身体障害者1～5級(歩行困難なもの) ○ 補助基本額110,000円の1/2補助	22,000	24,000	22,000
⑩ 身体障害者福祉バス設置補助 補助対象～5区市 補助基本額 1台6,600千円 補助率 2/3 (1/3区市負担)	0	22,000	0

全腎協国会請願署名集計表(昭54.1.30)

順	腎友会名	会員数	署名数(人)	募金額(円)
1	飯橋クニニッタク腎友会	30	45	3,150
2	田之端クニニッタク腎友会	60	266	33,500
3	池エバ久保病院腎友会	13	120	11,905
4	大大田本病院腎友会	2		
5	大織田本病院腎友会	12	148	15,900
6	北杏林医大病院腎友会	62	580	38,575
7	杏林医大病院腎友会	38	478	31,150
8	杏林医大病院腎友会	17	340	23,310
9	杏林医大病院腎友会	8	102	11,200
10	国立生立年子病院腎友会	30		
11	幸クニニッタク腎友会	11	306	21,770
12	幸クニニッタク腎友会	6		
13	三新南大昭人帝東	227	2,124	125,330
14	新南大昭人帝東	9	40	3,500
15	新南大昭人帝東	19	306	29,680
16	昭人帝東	4	74	11,200
17	昭人帝東	24	395	38,550
18	昭人帝東	20	41	6,821
19	昭人帝東	10	80	4,600
20	昭人帝東	3	29	0
21	昭人帝東	10	129	20,300
22	昭人帝東	25	192	19,460
23	昭人帝東	201	3,395	204,000
24	昭人帝東	46	460	28,000
25	昭人帝東	4	80	5,101
26	昭人帝東	10	48	3,800
27	昭人帝東	51	497	46,450
28	昭人帝東	45	632	64,400
29	昭人帝東	24	236	17,200
30	昭人帝東	7		
31	昭人帝東	60	671	14,639
32	昭人帝東	14	47	8,900
33	昭人帝東	27	398	18,970
34	昭人帝東	14	166	12,000
35	昭人帝東	22	99	30,130
36	昭人帝東	7	90	5,000
37	昭人帝東	12	190	10,600
38	昭人帝東	7		
39	昭人帝東	5	20	2,000
40	昭人帝東	8	109	7,500
41	昭人帝東	49	574	40,282
42	昭人帝東	8		
43	昭人帝東	17	129	12,355
44	昭人帝東	12		
45	昭人帝東	7	100	2,170
46	昭人帝東	5		
47	昭人帝東	8		
48	昭人帝東	67		
49	昭人帝東	4		
	小計	1,381	13,736	983,398
	個人会	109	704	104,500
	事務局		108	1,500
	合計	1,490	14,548	1,089,398

昭和五十一年二月二十五日
SSKO通巻第三百三十三号
昭和五十四年三月十六日発行

種郵便物認可

発行所

身体
東京田谷区砦八一二一三
者団体定期刊行物協会の
領価百円